

2025年
10月号

薬剤部通信

見てね!



薬剤師の活動や参加イベント情報などをお伝えしていきます!

9月薬剤部ゼミ

【9月ゼミ報告】



整形外科の病棟も担当しているため、薬剤科ゼミでは薬剤管理指導をする機会も多い骨粗鬆症治療薬について発表しました。

調べてみると、多くの作用機序、そして薬効も類似している薬剤がたくさんあり、驚きました。それだけ患者さんの状態に合わせて選べる薬剤があるということも改めて学ぶことができました。

また、使い分けについてもガイドラインを参考に確認することができたので、今後の監査業務にも生かしていけそうです。〈小田〉



8月23日「医療者がリードする がん患者力向上ワークショップ」開催!



薬剤師とPharma Crewなど院内外の医療スタッフが集い、患者力向上に必要なスキルを学び合いました。

グループワークでは、現場のリアルな課題に向き合いながら、熱量あふれる議論が展開!

そして、新人メンバー3名による発表は堂々たるもので、会場からは温かい拍手が送られました。この学びが、患者さん一人ひとりの力となって届いていくことを願っています。

がん患者さんが自らの力を発揮できるよう支えるために…
〈木本〉

この度の研修では大変貴重な体験をさせていただき先生方やスタッフの皆様に感謝申し上げます。

様々な職種の方々とのWSでは、改めてチーム医療の重要性とその構築の難しさを認識いたしました。患者様が闘病への意識を築く端緒は、ご自身の病態や予後、治療方法や効果(副作用)を知ることからだと思えます。それは医師の権能ですが、様々な患者様や御家族に対して、段階を踏みつついかに効果的に通知して行くかは、患者様と接する時間が多い他の医療者のフォローが必要だと感じました。この研修が、医師と他の医療者の効果的なコミュニケーション作りのツールになるようにさらなる普及を期待いたしております。〈ファーマークルー／成田亨〉

PEPから得た学びとして、「相手の関心に関心を持つことから始まる」というのがありました。患者が持つ希望、不安、感情は時期によって課題が変わるので薬剤師外来での相談や会話に共感することが私にできる役割のひとつだと感じています。

面談の記録を取りながら患者の不安な気持ちや感情の変化などを表情や声から読み取り「その人らしさ」が感じられるsoapの入力も工夫して実践していきます。〈ファーマークルー／山本〉

8月23日、PEP(Patient-Empowerment Program)研修会に参加してまいりました!

様々な職種の若手からベテランまでが集まり、実症例を基に患者力(自分の病気を医療者任せにせず、自分事として受け止め、いろいろな知識を習得したり、医療者と十分なコミュニケーションを通じて信頼関係を築き、人生を前向きに生きようとする患者の姿勢)を発揮してもらうためのスキルを学びました。

私は今回で3回目のリピーターでしたが、また新たな学びがありました!患者さんに還元することは勿論、今後も面談等のスキルを「慣れ」で片付けず、新人さんの指導にも活かしていきたいと思えます!〈河原〉



患者力を引き出すためには患者さん自身だけでなく、家庭や職場の環境も理解することが大切であると感じました。

今回の症例患者は私と同年代であり、患者の思いや周りの環境などをイメージしながらディスカッションを行うことができました。

今後の面談でも相手の靴を履くイメージを持って、今回学んだことを実践していきます。〈成田〉

竹田綜合病院 薬剤部

■ ロングローテーションのバージョンアップ!!



【新人教育プログラムがどう変わった?】

今年度の新人教育は、「薬剤師臨床研修ガイドライン」に準じて改訂した新しいプログラムで指導を行っています。

今までは1年間かけて研修をしていましたが、研修後は配属先のチーム以外の疾患に携わる機会がどうしても少なくなっていました。

そこで今年度からは各病棟のローテーションを追加して3年間かけて研修を行います。

1年目はケモ+2病棟(外科・内科)、2年目と3年目はケモ+9病棟(心疾患・脳疾患・外科・内／糖尿病科・呼吸器科・消化器科・

婦人科・精神科・小児/整形外科)を1か月ずつ研修して、症例作成まで行います。グルグルと3回ローテーションしていくうちに、あら不思議、あなたもジェネラリスト!

薬剤科全体で新人薬剤師のスキルアップをサポートしていきます。〈酒井〉

【2年目の研修に関して】

外来化学療法法の研修では、薬剤師面談で多くの患者と関わらせていただいたり、病棟研修ではこれまでに循環器、脳疾患、外科病棟を回り、それぞれの科でNSTカンファなども見学させていただきました。

各科1か月間と言う限られた時間の中ではありますが、様々な症例を通してPBPMの活用や多職種連携を体験し、今後の業務に繋がれるような経験ができました。

1年目での研修と比較し自分の成長を感じる一方で、まだまだ知識不足を痛感することも多く、2年後の研修認定薬剤師の取得に向け何事も積極的に取り組んでいきたいです。〈緑川〉

■ 新人さん紹介



長谷川 陸 さん

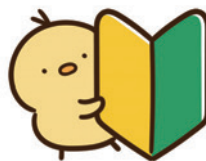
私が竹田総合病院へ入職し、ケモチームに所属するきっかけとなったのは、当院で大学時代に実務実習を経験し、特に癌治療に携わっているチームの業務に刺激を受けたこと、また、父が癌により当院で治療を受けていることから、癌をより一層身近なものと感じたことです。

入職してから初めに行ったのはECAM研修であり、臨床の現場における様々な場面で薬剤師としてどのように対応すべきなのか、指導薬剤師の方々がマンツーマンで教えてくださり、実際に患者面談をする際のイメージをつけるのにとても役に立ちました。

ここで学んだコミュニケーションの技術を意識しながら、今後の業務に活かしていけるように努力していきたいと思っています。



■ 新人基礎研修を終えて



3ヶ月間の基本業務等の新人研修を終えて現在では薬剤科の一人のメンバーとして業務を行う毎日が続いています。入社したての頃とは違い、一人で仕事を任せられることも増え責任が増してきていると日々実感しています。

その中で宿直に入った際には問い合わせに対応することや調剤などをすべて一人で行いました。普段は少しでもわからないことがあれば先輩方に聞けばすぐに解決することができますが、宿直の際には一人で解決するしかありません。

実際に問い合わせがありましたがあんまり調べて回答することができとても良かったです。

一人の際にもしっかりと業務を行えるように薬剤科の中で取り決めたルールや病院内でのルールに加えて自分自身の作業手順をしっかりと決めて安全に業務を進めていきたいと思っています。〈塩川〉

現在の新人研修では、各配属先での研修を行いながら、DIや感染、製剤室研修など様々なことを学んでいます。

配属先の化学療法チームでは、がんやレジメンの知識だけでなく、がん以外の疾患の知識も必要となるため、学ぶべきことが多く、勉強の日々です。また、面談でのECAMの実践も、まだまだ経験を積み重ねなければならない部分です。これらのことを早く習得できるよう、努力していく所存です。

また、8月からは宿直業務を一人でできるようになりました。初めての一人での宿直は緊張して一睡もできませんでしたが、経験を積むことで徐々に自信と余裕を持って宿直業務ができるようにしていきたいと考えています。〈三保〉

10月1日より外来化学療法チームでの研修をさせていただくことになりました。

これまで抗がん剤治療については主に国家試験対策の授業を通じて基本的知識を習得していましたが、今後は最新の治療動向やガイドラインの理解を深め、実践的な知識の強化に努めていきたいと考えています。2日目以降、実際に患者さんとの面談が始まりました。ECAMを意識した面談の実施には難しさを感じていますが、残りの日数で質の高い面談ができるようになりたいと思います。

約1か月間という短い期間ではありますが、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供出来るように努力していきますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。〈石田〉

■ 会津まつり 磐梯山踊りに参加しました!



竹田総合病院 薬剤部

8月25～27日インターンシップが行われました!!

インターンシップに参加することで、実務経験や人脈の構築、キャリアの方向性を明確にするなど、多くのメリットがあります。今回紹介するインターンシップは、学生さんの希望に合わせた3日間の日程とスケジュールで実施しました。

※今回のインターンシップは当院見学会に参加済みの方の一例となっています。また、見学会と合わせたインターンシップも行っています。



1日目・2日目

時間	内容	詳細
14:00頃	集合	●総合医療センター「総合案内」前 (病院正面玄関を入ってすぐ・「ドトールコーヒー」前)
14:00～14:10	ロッカー案内など	●着替え、ロッカー案内など
14:10～14:40	オリエンテーションと講義	●当院でのインターンシップに関する説明 ●ECAMに関しての講義
14:40～15:30	フィジカルアセスメントと翌日の予習	●フィジカルアセスメントに関する講義 ●下記業務に関する説明など 〈診察前面談〉 ●Welby確認・事前面談シート記入・処方提案・PBPM処方 の入力 〈その他〉 ●担当患者のレクチャー・医師の診察の見学・ミキシング前 の血液検査確認 ●疑義紹介などの問い合わせなど ※診察までは、面談の見学担当患者に関しての情報共有やレク チャーなどを行う 〈診察後面談〉 ●院外処方確認・會津お薬手帳の記入 ●検査地や帰宅後の注意事項説明 〈その他〉 ●抗がん剤のオーダー ●処方監査業務
15:30～16:00	精神科の業務紹介	●精神科認定薬剤師より説明
16:00～16:15	採用制度に関する説明	●人材開発課より採用、各種制度に関する説明
16:15～16:30	アンケート	●精神科認定薬剤師より説明
16:30～17:00	新人から業務紹介	●エニアグラム
17:00	終了	●新人薬剤師より業務に関する説明

3日目

時間	内容	詳細
8:30頃	集合	●着替え等を行う
8:30～12:00	診察前面談(実践) ※1名見学・2名程度面談	〈診察前面談〉 ●事前面談シート記入 ●処方提案 ●PBPM処方の入力 ●フィジカルアセスメントなど 〈その他〉 ●医師の診察の見学 ●ミキシング前の血液検査確認 ●疑義照会などの問い合わせなど ※診察までは、面談見学担当患者に関しての情報共有や レクチャーなどを行う
12:00～13:00	昼休憩	※休憩時間は変更となる可能性があります
13:00～15:45	精神科領域の業務	●精神科領域の業務の実践 ※現在、スケジュールを検討中です
15:45～16:30	病院紹介	●病院内の案内
16:30～17:00	帰りの支度 アンケート	●着替え インターンシップに関するアンケートのご協力をお願いいたします
17:00～17:15	終了	●着替え等を行う

参加した薬学生は、インターンシップに「とても満足」と高評価の回答でした。理由として「興味のある分野でスケジュールを組んでくださったため」と述べています。特に、がん・緩和ケア・精神科・フィジカルアセスメントといった関心の高い分野について、実践的な学びの機会が提供されたことが高評価につながりました。また、初日のスケジュールを午後からにするなど柔軟な調整も好印象だったようです。

【印象に残ったポイント】

インターンシップで印象に残ったのは以下の4点です。

- がん専門資格が取得可能な登録施設 … 専門性の高い環境が整っていること
- 外来がん患者への服薬指導 … 患者と直接関わる薬剤師の役割を体感
- ファーマークルーの存在 … 薬剤師が専門業務に集中できるサポート体制
- 学会参加のしやすさ … 学術的な成長を後押しする環境

これらの特徴は竹田総合病院が薬剤師にとって働きやすく、専門性を追求できる職場であることを示しています。

今回参加の薬学生は、興味分野に合わせたスケジュール、専門性の高い環境、そして患者と直接関わる機会を通じて、薬剤師としての将来像を具体的に描けたようです。病院薬剤師を目指す学生にとって、竹田総合病院は専門性を磨き、成長できる職場として高い評価を得ています。みなさんも是非、竹田総合病院のインターンシップへご参加ください!!

竹田総合病院 薬剤部

【満足度】★★★★★

～ 参加学生の感想 ～

アンケートより

お忙しい中インターンシップを開いてくださりありがとうございました。
3日間行うことができたため複数名の患者さんの面談を実際にすることができ、業務内容や一日の流れなどを詳しく知ることができました。病院実習や合同説明会を通して、病院によってこんなにも業務内容や薬剤師の役割が違うのかと驚きました。がん専門資格が取れる登録施設であること、学会に参加しやすい環境だということでもさらに興味が湧きました。もし就職することが決まった際には宜しくお願い致します。

奥羽大学薬学部と薬剤師育成などで協力



8月29日に奥羽大学薬学部との連携協定調印式が行われました！

奥羽大との連携が、学生の皆様の成長と地域社会へのさらなる貢献につながるよう、尽力したいと思います。

今後は、実習生の受け入れだけでなく、学生との共同研究や病院薬剤師の職能に関する講義などにも積極的に取り組んで行く予定です。調印式の写真を共有しますね♪

医療薬学会がん専門薬剤師研修施設に認定！



齋藤 浩司 さん

竹田綜合病院が「がん専門薬剤師研修施設」の認定を受けました。

認定期間は2025年10月1日から2030年の3月31日となります。新人薬剤師募集の一助になれば幸いです。

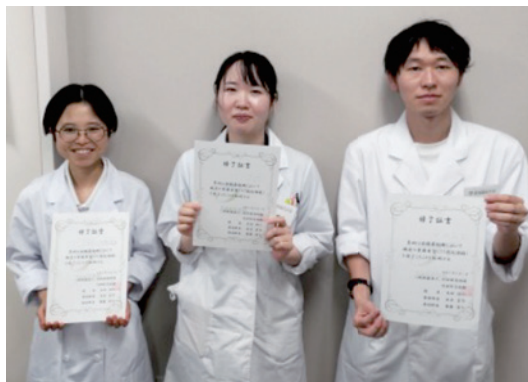
私個人としてはがん指導薬剤師の認定を受けましたが、まだまだ勉強中です。

指導するというより化学療法チームの一員として、仲間と共に学んでいくという姿勢で業務に取り組んでいこうと考えています。

今後ともよろしくお願いします。



2025第2期実務実習生修了



実務実習、お疲れ様でした。

最初は緊張した面持ちでしたが、日を追うごとに学び、考え、質問する姿が多くみられるようになり、その成長を嬉しく感じました。実習での経験は必ず大学生活や今後の学びにも活かせると思います。ぜひ自信を持って取り組んでください。

今回の実習を支えてくれた指導薬剤師のみなさんにも心より感謝いたします。
〈中村〉



マイナビ(仙台市)参加



【8月11日 マイナビ薬学生就職説明会に参加しました！】

当日は多くの学生が各ブースを訪れる中、当院のブースにも6名の方が足を運んでくださいました。

特に興味を持っていただいたのは、認定・専門薬剤師取得を支援する当院独自の制度や、新人教育体制、さらに修学資金や奨学金返済に関する制度でした。

どの学生さんも真剣に耳を傾け、質問も具体的で、その姿勢から薬剤師という職への強い想いが伝わってきました。

一人ひとりの瞳の輝きが印象的で、未来の仲間として出会える日を楽しみにしています(^ ^) 〈木本〉

当院ブースにお越し頂いた学生の皆さまありがとうございました。

将来どういう薬剤師になりたいのかという目標が明確な学生も多く、こちらもそ

の夢が叶うための職場にさらにしていきたいという刺激を受けました。就職活動をしている学生時代の自分に伝えたいことは、見学会でいいと思った就職先には見学に行き、その就職先の薬剤師がどんなマインドで働いているのか、将来自分がそのようなマインドで働けたらワクワクするのかを確認するといいいということです。

学生生活も忙しい時期となってくるかと思いますが、またお会いできることを楽しみにしています！〈香内〉

【企業説明会への参加日程お知らせ】

- 11月3日(月) マイナビ仙台市
- 11月9日(日) マイナビ新潟